



埼玉医科大学医学部 同窓会会報

第40号

平成20年1月



巻 頭 言

会長 **わた なべ ゆう こう**
渡 辺 雄 幸



新春を迎え、同窓会会員の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。昨年7月、会長に就任いたしました。皆様方のご協力ご支援により、同窓会の活動も順調に行われております。ここにご報告させていただくとともに、御礼申し上げます。

さて、医療を取り巻く環境はますます厳しさを増しております。医療費抑制政策の中、小児科・産科の医師不足、勤務医の疲弊、救急医療の危機など、医療崩壊といった言葉が新聞をにぎわしております。少し前までは、医療過誤の問題などで、医者たたきが行われていましたが、ようやくマスコミも医療の危機的状況に目を向けるようになり、私たち医療関係者とともに、改革すべきとの機運が高まりつつあるように感じております。

今回の診療報酬改定では、医療費全体としては減額でしたが、本体部分が0.38%増に決まりました。また、医療死亡事故に対しては、医療訴訟が増加しているだけでなく、警察による刑事訴追が問題となっており、安心して医療行為が行えなくなる事態に至っています。これに関しては、医療安全調査委員会（仮称）が設置されることになりましたが、まだまだ議論の多いところだと思います。

本年4月には、診療報酬改定、後期高齢者医療制度、特定健診・特定保健指導などが実施されます。今後とも、めまぐるしく変化する医療環境の中、医師として本来の自分を見失うことなく、頑張っていきたいと思ひます。

また、大学では、昨年4月に日高の国際医療センターが開院され、毛呂の大学病院、川越の総合医療センターに続いて、一段と大きく充実し、飛躍した年になりました。医学部と保健医療学部の2学部からなる医療系

の大学として、これからも大きく発展されるよう、協力していきたいと思います。

さて同窓会では、昨年11月に同窓生の教授就任を祝う会を開催いたしました。多くの方にご出席いただき、本当にありがとうございます。おかげさまで、盛大にとりおこなうことができました。一期生が卒業して30年、あわせて9人の同窓生の教授が誕生しております。大学を良くしていくためには、やはり卒業生一人一人の自覚と努力が必要でしょう。その中でも、教育、研究、臨床の中心となるべき教授の役割は非常に重要であります。学生にとっても、その影響は多大であります。今後その真価が問われることになりましたが、全面的に支援したいと思っております。

現在卒業生が2875名、その内、学内に約490名、開業が約680名、その他勤務されている方が約1660名となっています。つまり約6割の方が学外の病院などに勤務されているという状況です。始めにも述べましたが、勤務されている多くの方は、かなり過酷な労働条件の下で、ご自分の医療を実践されておられることと思います。この頑張りがあからこそ、何とか保険医療が成り立っているわけで、早く何とかしなくてはならないと思ひます。

私は開業していますので、以前は医師会、マスコミからの情報がほとんどでしたが、最近ではインターネットを通じての情報のほうが多くなっています。会員の皆様はどうされていますか。

最後になりましたが、会員の皆様のご期待に沿えるよう頑張っていこうと思ひますので、今後ともご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

お 知 ら せ

落合記念賞研究助成金の公募について

第19回落合記念賞研究助成金を公募します。

第19回落合記念賞研究助成金（若手研究者による、医学上将来性に富む研究に対して1件100万円を上限として毎年3～4件を対象に助成）を、下記の通り公募致しますのでご希望の方は所定の申請書をご提出下さい。

第19回落合記念賞研究助成金応募要項

1) 申請資格者

埼玉医科大学医学部同窓会会員（但し、教授・准教授・医学部学生は対象から除外する。）で、平成20年4月1日現在40歳未満の者とする。

2) 研究者

個人または複数であっても構わない。協同研究者が申請者の所属と異なっても構わない。

3) 研究期間

原則として2年以内に研究成果が得られる研究であること。

4) 申請に必要な書類（4～5枚1組）

＊申請書—所定の書式用紙[3枚, 7)に該当する者は4枚1組]に記入のこと。

＊推薦書—所属学科長ないしは科長、また

はそれらに代わる者を推薦者として、所定の書式用紙に記入のこと。

5) 申請期間

平成20年1月15日～3月末日迄の間に、上記の申請書類一式を埼玉医科大学医学部同窓会事務局に提出のこと。

6) 助成金について

助成金は最高100万円までとする。

授与式は6月の同窓会総会で行う。

助成金の交付方法その他については、受賞者に総会終了後説明する。

なお、研究継続が不可能となった場合には、直ちに同窓会会長に報告するとともに、未使用額分の助成金は同窓会に返納しなければならない。

7) その他

申請の研究と同一とみなされる研究で、既に他の助成金の交付を受けている場合、あるいは申請中の場合には、申請書(4)にその内容を明記し提出のこと。なお同一の研究題目で既に他の助成を受けている場合は、応募をご遠慮下さい。

注) 助成金の使途として、交通費、学会参加費、書籍代、パソコンならびに関連ソフト代等は原則として認められません。また、申請書3には材料等の単価、個数等もご記入下さい。

原稿募集のお知らせ

埼玉医科大学医学部同窓会では、同窓会報に載せる原稿を広く同窓生より募集しております。内容は特に問いません。同窓会あるいは大学に対する要望、意見、批判、または開業や近況報告などなんでも結構です。埼玉医科大学医学部同窓会宛お送り下さい。

表紙作品の募集について

編集委員会では、原稿の他に、表紙を飾る作品も募集しております。絵画、書、工芸、写真、その他のジャンルを問いません。実物でも、作品を写した写真でも結構です。埼玉医科大学医学部同窓会宛お送り下さい。

ご注意ください・・・

- ◆ 事務局職員や同窓生を名乗り、皆様の住所を調査するために、勤務先やご実家などへ電話をする業者があるようです。**事務局では電話で皆様のご住所を確認することは一切いたしておりません**のでご注意ください。

不信に思われましたら、**即答せずに**「改めて連絡します。」などと答えていただいて、**同窓会事務局にお問い合わせ下さい。**

例) ・「埼玉医大を〇〇年に卒業した〇〇病院の〇〇ですが、名簿を作成にあたり住所の確認をしています、はがきが戻っていないので連絡しました・・・」、実家に「同期の〇〇ですが住所を教えて欲しい・・・」などという電話があった。(同期の先生にそういう名前の人はいなかった。)

- ・卒業生の実家に「**宅配便**ですが、医大から荷物が届いているので、お子さんの転居先を教えて欲しい・・・」という電話があった。かけ直したら使われていない電話だった。

- ◆ 皆様のご自宅に名簿発行に関するはがき等が送られた場合も、返信先が埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38 埼玉医科大学医学部同窓会であることをご確認ください。「埼玉医大同窓医人名鑑」への掲載勧誘のはがきなどは、**当同窓会とは全く関係がございません**のでご注意ください。

- ◆ 同窓会事務局では、皆様にご提供頂いている個人情報の管理につきましては、細心の注意を払っておりますが、会員名簿を利用したと思われる、悪質なセールスや各種の勧誘等を目的とした迷惑電話やメールについてのお問い合わせを頂いております。

皆様には、会員名簿の取り扱いにつきましては、十分ご配慮頂き、**会員以外への譲渡や貸与等ご遠慮頂く様**お願いいたします。また、不要な名簿の取り扱いにつきましては、特にご配慮をお願いいたします。